

プログラム名	EBM (Evidence-based Medicine)																																																																																																																														
対象学年	医学科 1～6年生																																																																																																																														
概要	<p>EBM (Evidence-based Medicine) は、「入手可能な最良の科学的根拠に基づいて、個々の患者に最善の医療を提供する行動様式」と定義される。医学では歴史的に、個々の医師の経験や慣習が診療方針を選択する主な根拠となっていたが、科学的に信頼性の高い研究結果に基づいた診療をめざそうという考え方が1990年代に提唱され、現代では医学・医療の基盤として定着している。EBMでは、科学的手法によって集められ解析された臨床試験の結果等のエビデンス（科学的根拠）を信頼度別に分類し、個々の患者に最善の医療を決定する際の根拠として利用する。しかし、最善の医療を行うためには、患者に特有の臨床状況、患者の意志や価値観、費用、医療者の技量等も考慮される必要があることから、学生は、患者の個性性を考慮しつつ科学的根拠に基づいた医療をいかにして実現するか、その方法論を修得する必要がある。</p>																																																																																																																														
授業方法	<p>本プログラムでは1～6年の全学年にわたって、講義、グループワーク(GW)、実習などさまざまな方法を用いて段階的にEBMに関する教育を行う。具体的な分担科目および教育内容・方法は以下の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目(ユニット)名</th> <th>学年</th> <th>内容</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生命医療倫理学</td> <td>1</td> <td>総論、事例</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>専門教養・国際協力論</td> <td>1</td> <td>方法論</td> <td>講義、GW、発表</td> </tr> <tr> <td>放射線生物学</td> <td>2</td> <td>方法論</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>免疫学</td> <td>2</td> <td>総論、事例</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>衛生学</td> <td>3</td> <td>総論、方法論、事例</td> <td>講義、GW</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生学</td> <td>3</td> <td>方法論</td> <td>講義、GW</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>3</td> <td>事例</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>腎臓</td> <td>3</td> <td>方法論</td> <td>講義、GW</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>3</td> <td>事例</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>血液</td> <td>3</td> <td>総論、方法論</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>救急</td> <td>3</td> <td>総論、方法論、事例</td> <td>講義、GW</td> </tr> <tr> <td>臨床腫瘍学</td> <td>3</td> <td>方法論、事例</td> <td>講義、演習</td> </tr> <tr> <td>症候診断治療学</td> <td>4</td> <td>症例検討</td> <td>テュートリアル</td> </tr> <tr> <td>臨床実習入門プログラム</td> <td>4</td> <td>事例</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(腎臓内科)</td> <td>5</td> <td>方法論</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(血液内科)</td> <td>5</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(外科学第一)</td> <td>5</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(外科学第二)</td> <td>5</td> <td>総論</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(救急医学)</td> <td>5</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>講義、症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(泌尿器科)</td> <td>5</td> <td>症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(総合診療科)</td> <td>5</td> <td>症例検討</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅰ(リハビリテーション科)</td> <td>5</td> <td>総論、症例検討</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(腎臓内科)</td> <td>5～6</td> <td>方法論</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(外科学第一)</td> <td>5～6</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(外科学第二)</td> <td>5～6</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(血液内科)</td> <td>5～6</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(泌尿器科)</td> <td>5～6</td> <td>症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(透析内科)</td> <td>5～6</td> <td>方法論</td> <td>GW</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(救急医学)</td> <td>5～6</td> <td>方法論、症例検討</td> <td>講義、症例検討</td> </tr> <tr> <td>臨床実習Ⅱ(病理診断科)</td> <td>5～6</td> <td>症例検討</td> <td>症例検討</td> </tr> </tbody> </table>			科目(ユニット)名	学年	内容	方法	生命医療倫理学	1	総論、事例	講義	専門教養・国際協力論	1	方法論	講義、GW、発表	放射線生物学	2	方法論	講義	免疫学	2	総論、事例	講義	衛生学	3	総論、方法論、事例	講義、GW	公衆衛生学	3	方法論	講義、GW	消化器	3	事例	講義	腎臓	3	方法論	講義、GW	泌尿器	3	事例	講義	血液	3	総論、方法論	講義	救急	3	総論、方法論、事例	講義、GW	臨床腫瘍学	3	方法論、事例	講義、演習	症候診断治療学	4	症例検討	テュートリアル	臨床実習入門プログラム	4	事例	講義	臨床実習Ⅰ(腎臓内科)	5	方法論	GW	臨床実習Ⅰ(血液内科)	5	方法論、症例検討	GW	臨床実習Ⅰ(外科学第一)	5	方法論、症例検討	症例検討	臨床実習Ⅰ(外科学第二)	5	総論	講義	臨床実習Ⅰ(救急医学)	5	方法論、症例検討	講義、症例検討	臨床実習Ⅰ(泌尿器科)	5	症例検討	症例検討	臨床実習Ⅰ(総合診療科)	5	症例検討	GW	臨床実習Ⅰ(リハビリテーション科)	5	総論、症例検討	GW	臨床実習Ⅱ(腎臓内科)	5～6	方法論	GW	臨床実習Ⅱ(外科学第一)	5～6	方法論、症例検討	症例検討	臨床実習Ⅱ(外科学第二)	5～6	方法論、症例検討	症例検討	臨床実習Ⅱ(血液内科)	5～6	方法論、症例検討	GW	臨床実習Ⅱ(泌尿器科)	5～6	症例検討	症例検討	臨床実習Ⅱ(透析内科)	5～6	方法論	GW	臨床実習Ⅱ(救急医学)	5～6	方法論、症例検討	講義、症例検討	臨床実習Ⅱ(病理診断科)	5～6	症例検討	症例検討
科目(ユニット)名	学年	内容	方法																																																																																																																												
生命医療倫理学	1	総論、事例	講義																																																																																																																												
専門教養・国際協力論	1	方法論	講義、GW、発表																																																																																																																												
放射線生物学	2	方法論	講義																																																																																																																												
免疫学	2	総論、事例	講義																																																																																																																												
衛生学	3	総論、方法論、事例	講義、GW																																																																																																																												
公衆衛生学	3	方法論	講義、GW																																																																																																																												
消化器	3	事例	講義																																																																																																																												
腎臓	3	方法論	講義、GW																																																																																																																												
泌尿器	3	事例	講義																																																																																																																												
血液	3	総論、方法論	講義																																																																																																																												
救急	3	総論、方法論、事例	講義、GW																																																																																																																												
臨床腫瘍学	3	方法論、事例	講義、演習																																																																																																																												
症候診断治療学	4	症例検討	テュートリアル																																																																																																																												
臨床実習入門プログラム	4	事例	講義																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(腎臓内科)	5	方法論	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(血液内科)	5	方法論、症例検討	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(外科学第一)	5	方法論、症例検討	症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(外科学第二)	5	総論	講義																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(救急医学)	5	方法論、症例検討	講義、症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(泌尿器科)	5	症例検討	症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(総合診療科)	5	症例検討	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅰ(リハビリテーション科)	5	総論、症例検討	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(腎臓内科)	5～6	方法論	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(外科学第一)	5～6	方法論、症例検討	症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(外科学第二)	5～6	方法論、症例検討	症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(血液内科)	5～6	方法論、症例検討	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(泌尿器科)	5～6	症例検討	症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(透析内科)	5～6	方法論	GW																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(救急医学)	5～6	方法論、症例検討	講義、症例検討																																																																																																																												
臨床実習Ⅱ(病理診断科)	5～6	症例検討	症例検討																																																																																																																												
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者にとって最善の医療とは何かを説明できる</li> <li>2) EBMの概念について説明できる</li> <li>3) EBMによって患者に最善の医療を提供する過程と手順を説明できる</li> <li>4) EBMが医学・医療においてなぜ重要であるかを説明できる</li> <li>5) 臨床試験の種類と内容を説明できる</li> <li>6) エビエンスレベルとは何かを説明できる</li> <li>7) 学会等のガイドラインを読み、必要な情報を抽出できる</li> <li>8) 文献検索を行い必要な文献を収集することができる</li> <li>9) 集めた文献を批判的に吟味することができる</li> <li>10) 集めた情報を、個々の情報の信頼度に配慮したうえで融合することができる</li> <li>11) EBMの考え方に基づいて症例検討を行うことができる</li> </ol>																																																																																																																														

12) EBMの考え方に基づいて、個々の患者に最善の医療方針を決定することができる